

## 4 西三河地区



## 子育てネットワーク活動事例

# ネットワークの会設立15周年記念事業

西三河地区 岡崎市

### ○ねらい、趣旨

- ・ 支えていただいた多くの方々へ感謝とお礼の気持ちを表現する。
- ・ 子育て経験を生かしながら時代に合った関わり方や知識を得る。
- ・ 子供を取り巻く環境に目を向け、共に育み、成長を喜び合う。
- ・ 次世代を担う若者の育成。

### ○きっかけ 取組の背景

親子を対象にしたイベントと支援者を対象にした講演会を行いたいと考え、設立15周年で実施することにした。イベントを行うには、実働できるネットワークが限られていることから、市内の専門学校とタイアップで実施した。

### ○事業活動主体

岡崎子育てネットワークの会

### ○事業共催

岡崎市



### ○活動の概要

#### <参加者や対象者>

- 第1弾 ファミリーフェスタ：サークル参加の親子とその家族
- 第2弾 子育て講演会：県内子育てネットワーク、地域子育て支援者、教育関係者、興味のある方

#### <人数>

- 第1弾 100名
- 第2弾 80名 \*中日新聞社取材あり

#### <講座や活動の内容>

- 第1弾 ネットワーカー担当：手遊び、ペープサート、じゃんけんゲーム  
専門学校担当：ふれあい体操、絵本劇、工作（作ってあそぼ）
- 第2弾 「子どもってわけわからん!!だけどおもしろい～子ども、教師、保護者一緒に元気に暮らす～」と題しフリースクール“アーレの樹”理事、『お・は』編集人の岡崎勝氏をお招きしての講演会。

## ○様々な活動で連携しているところ

岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎市社会福祉協議会、  
岡崎市ボランティア連絡協議会、社会福祉法人若竹荘、  
チーム子育て in おかざき、岡崎市内の専門学校や大学



## ○成果・効果

### 第1弾

乳幼児の兄弟たちが、親御さんと一緒に活動することができて笑顔いっぱい満足の様子だった。



### 第2弾

多くの方の参加あり。  
時代背景とともに子供を取り巻く環境は難しくなっている。



## ○課題・今後について

- ① 子育て支援者団体との連携をもち、情報の共有やともにイベントを支え合いながら活動ができる仕組みづくりをすること。
- ② 働き方改革等により、サークル参加親子が減少傾向に。また、今後予想される事案として、ネットワーカーの高齢化や家族環境の変化により活動ができなくなる現状から、今後の活動に際し変革期に入っている。
- ③ 男性の活動を含め、若い世代のネットワーカーを増やしていきたい。
- ④ 平時における親子防災講座や発災時における支援者のボランティア活動について、子育て支援者として取組方法を考えていきたい。

## 参加者の声

- ・ 親子で一緒に遊べて楽しかったです！
- ・ 子供の異変に気付いてあげられるようにしたい。
- ・ 学校に行ける、職場に行ける、笑って話ができる、食事ができる…繰り返される行動は、当たり前でなくとても貴重な出来事であることに感謝したい。



## 子育てネットワーカー活動事例

# エンゼル広場・出張エンゼル

西三河地区 刈谷市

### ○ねらい、趣旨

#### ☆エンゼル広場☆

地区の子育て支援

#### ☆出張エンゼル☆

刈谷市内の子育て支援団体の活動のサポート及びアドバイスをする。



### ○きっかけ 取組の背景

平成 15 年、当時の児童課から話をいただき、ファミリー・サポートの一事業として出発した。

### ○事業・活動主体

生涯学習課・子育て推進課  
子育てネットワーカー刈谷  
「エンゼル」  
※ 23年度からはボランティア団体として活動

### ○活動の概要

#### ☆エンゼル広場☆

##### <参加者や対象者>

就園前の子とその保護者

##### <人数> 12~15組

##### <講座や活動の内容>

- ・ 手遊び・絵本の読み聞かせ
- ・ かみしばい・エプロンシアター等
- ・ 親子分離したサロン（子育て中の親の悩みや聞きたい事などを話してもらう・アドバイスや情報交換の場）



#### ☆出張エンゼル☆

##### <参加者や対象者> 刈谷市内の子育て支援団体

##### <講座や活動の内容>

- ・ 市内子育て支援団体10か所程度を回り、活動のサポート
- ・ 手遊び、絵本の読み聞かせ、かみしばい
- ・ エプロンシアター※ 等おもちゃなどの製作を提供

### ○啓発方法

- ・ 市内子育て支援団体へPRし、ポスターを作り配布
- ・ ボランティア団体ネットワーク会議で依頼
- ・ 地区へのチラシ回覧

### ○連携しているところ

- ・ 刈谷市内の子育て支援団体
- ・ 生涯学習課、子育て推進課



### ○成果・効果

#### ☆エンゼル広場☆

リピーターも増え、子育て中の保護者にアドバイスができた。

#### ☆出張エンゼル☆

依頼数が増え、活動の幅が広がった。



### ○課題・今後について

子育てネットワーカーに対して・・・若いメンバーが増えない。

#### ☆エンゼル広場☆

地区での子育てに対する意識向上

#### ☆出張エンゼル☆

支援団体へのサポートが十分になされているか？



### 参加者の声

#### ☆エンゼル広場☆

- ・ 歩いて行ける地区の市民館でやってくれるので、とてもうれしい。
- ・ 自分だけ悩んでいると思っていたことが、皆さんも同じように悩んでいて一人ではないとわかり、安心した。
- ・ 何でも聞けるのでよかった。

#### ☆出張エンゼル☆

- ・ 活動の役に立った。
- ・ レポートリーが少ないのでこれからも提供をお願いしたい。

※エプロンシアター・・・胸当て式のエプロンを舞台に見立て、人形をエプロンに付けたり、外したり、ポケットに戻したりしながらお話を進める。

## 子育てネットワーカー活動事例

# サンキュウ健診における託児業務委託

西三河地区 西尾市

### ○ねらい、趣旨

- ・ 子育て中の親が託児サービスを利用し、サンキュウ健診（39歳以下健診）を受診し、健康に留意し、子育てができるように支援する。

### ○きっかけ 取組の背景

- ・ 西尾市健康福祉部健康課から委託を受け、平成21年度から実施している。
- ・ 未就園の子供を連れて受診される方の託児を行う。

### ○事業・活動主体

にしお子育て応援隊  
西尾市保健センター

### ○活動の概要

#### <対象者>

受診される方の未就園児の子

#### <人数>

222名（13回）

#### <活動の内容>

全13回行われる「サンキュウ健診」に毎回5名から14名の託児者を派遣する。



### ○活動の特色や手立て

「にしお子育て応援隊」の組織は、子育てサークル支援者、更生保護女性会、民生・児童委員、主任児童委員、子育てネットワーカー等、会員数は約200名。実働人数は60名程度。（ネットワーカー14名）

### ○啓発方法

西尾市の広報、ホームページ

### ○成果・効果

- ・ 託児ボランティア活動を支えるメンバーのスキルアップを目的に研修会を開催している。
- ・ それぞれのボランティア活動や個々に活動している支援者が「にしお子育て応援隊」に所属し、活動することで交流でき、子育て支援、応援情報等を共有できる。



### ○今後について

- ・ 子育て支援は、行政が主体となって計画的に進めていくことが基盤であるが、行政のみでは、個々の問題、緊急な問題等に対応することが難しい。そのすき間を埋めることが「にしお子育て応援隊」の役割と自覚し、今後も地道に進めていきたい。ネットワーカーの有資格者もその中で活動していきたいと思う。

### 参加者の声

託児があるので、安心して健診が受けられる。  
託児をしていただける方が泣いている子に優しく声を掛けていただけでうれしかった。

## 子育てネットワーカー活動事例

# 「親子ふれあい広場」「託児活動」

西三河地区 幸田町

### ○ねらい、趣旨

「親子ふれあい広場」：就園前の乳幼児と保護者を対象  
子供とのふれあい遊びや保護者同士の仲間作り  
「託児活動」：保護者の方が安心して講座に参加できるようにするため

### ○きっかけ

平成7年、愛知県子育てネットワーカー養成講座を受講した第1期生と第2期生が、幸田町の生涯学習課にネットワーカーの活動場所を設けてくれるように依頼した。当時の担当者の快諾により、平成8年より、生涯学習課とともに「親子ふれあい広場」をスタートさせた。当時は無償ボランティアとして活動していたが、その後、活動実績が認められて、有償講師として担当している。

託児活動は、生涯学習課からの依頼。

### ○事業・活動主体

子育てネットワーカー  
と生涯学習課との協働事業



### ○取組の背景

発足当時は町内に現在のような育児支援はなく、この様な就園前の親子対象の講座は、画期的なものだった。当時は、親になったものの、どうやって子供と遊んだらいいのかわからないという悩みを持つ親が多く、そのニーズに応えるような、手遊び、工作、リトミック等子供と遊べる多彩な内容だった。

しかし、次第に町内にこうした講座が生まれ、世間的にも遊びのツールが手に入りやすい時代になり、私たちの当初の目的は達成した。

次に、親の悩みは、親子で遊べるけれど他の親子と遊べない・関われないというものに変わっていった。そこで、こうしたニーズに応えるように「ふれあい広場」での内容を、親と子・親と親・子と子のふれあい交流を提供する場へと内容を変えていった。親同士のおしゃべりタイムを設けながら、親同士で遊ぶ内容を企画する機会を設けたり、様々なアイスブレイキングを取り入れたりした。



### ○活動の概要

- 活動の対象：就園前の乳幼児とその保護者
- 活動の人数
  - 春の部：パンダグループ（木曜）20組から25組  
コアラグループ（金曜）20組から25組
  - 秋の部：パンダグループ（木曜）20組から25組  
コアラグループ（金曜）20組から25組
  - クリスマス会：100組、はるまつり：100組
- 活動の時期
  - 春の部：5月から7月にかけて週1回全7回プラスお楽しみ会
  - 秋の部：9月から11月にかけて週1回全7回プラスお楽しみ会
  - クリスマス会：12月上旬に1回
  - はるまつり：2月下旬に1回
- 活動の内容
  - 親子ふれあい広場：水遊び、砂遊び、音遊び、工作、おさんぽ、おしゃべり回、ミニ運動会、社会見学等
  - クリスマス会：クリスマスにちなんだ手遊び、ソリ遊び、歌や劇、バンド演奏会、サンタさんからプレゼント等
  - はるまつり：春にちなんだ手遊び、歌や劇、リズム遊び、等



### ○活動の特色や手立て

ネットワークーは、場作りと遊びのきっかけを提供するが、どのように参加するかは参加者に任せて見守っている。なるべく必要に応じて参加者に語りかけ、日頃の育児の出来事についての話を聞かせていただき、また、参加者同士が顔見知りになれるように働きかけを行う。

### ○啓発方法

全戸配布、各施設配布設置の『広報こうた』に情報を載せてもらう。

### ○成果・効果

毎回多くの応募があり、アンケートにおいても満足度が高い。

### ○今後について

どんどん時代のニーズは変わってきて、今は子供同士を遊ばせてあげたい、子供集団の中で子供の成長を促したいと考えてみえる親御さんが増えてきた。また、子供を連れてくる方も、母親だけだったのが、祖母や父親、または、父母というように変化してきた。これらのことに見合うよう内容を変えていこうと考えている。

しかし、子育て中の保護者の方々のそばにいて、悩みに寄り添い、耳を傾け、育児をサポートしていくことを主軸としていくことに変わりはない。

### 参加者の声

- また参加したい。個人ではできないこともあるので開催していただき本当にありがたい。
- ママ友ができるいいきっかけになった。
- 保育園に行っても大丈夫かな？と思っていましたが、楽しそうなので安心した。
- 同じ年齢の子同士で、子供同士ならではの関わり合いが見られてよかったです。
- 子供が楽しそうだと自分も楽しい。

